

✧ 海外ニュース ✧

豪州 2022年6月6日 DRIVE

■ ビクトリア州、蓄光式の路面標示を試行

Victoria trials glow-in-the-dark line markings

ビクトリア州で試験されている新しい路面標示材のおかげで、もうすぐ暗くて曲がりくねった危険な道路が少し安全になるかもしれません。これは新しい蓄光塗料で、子供の頃の寝室の天井にあった星のように、夜になると緑色に光る路面標示で、ヘッドライトがあまり届かない場所でも運転手が道路の進行を確認するのに役立ちます。豪道路研究委員会（ARRB）は、ビクトリア州交通局と協力して試験を行うだけでなく、西オーストラリア州では利用方法の検討を支援する。

米国 2022年6月9日 SAE International

■ 2023年、EVワイヤレス充電道路が、米国デトロイトで登場

Wireless road charging for EVs to debut in 2023

デトロイトの都市高速道路で、米国の公道で初めてとなる、道路埋め込み型EVワイヤレス充電の試行プロジェクトが開始される。イスラエル Electreon 社が特許を取得した技術によるもので、イタリアの1.05kmの都市間有料道路やスウェーデンの1.65kmの公道など、ヨーロッパのさまざまな実証プロジェクトで既に採用されている。デトロイトの電化道路は、フォード社が開発中のモビリティ・イノベーション地区であるミシガン・セントラル付近に設置される。

イタリア 2022年6月11日 La Repubblica

■ 高速道路 Brebemi でEVワイヤレス充電を初めて試験するフィアット 500

Una 500 sulla Brebemi Ricarica a induzione in autostrada, primo test

高速道路 Brebemi で、EVワイヤレス充電の最初の試験を実施中である。未来の充電方式である電磁誘導装置を試験運用する回路が1km続いており、走行する車両にワイヤレス給電するためにアスファルトの下12cmのところ敷設されたらせん状の装置を用いている。Brebemiでは、フィアット500eとIvecoバスで最初の電磁誘導装置を運用する実験を行った。

米国 2022年6月15日 Michigan Capitol Confidential

■ ガソリン燃料購入税ではなく、走行距離に応じた道路運営費の徴収

Fund roads through fees on miles driven, not gallons of gas purchased

ミシガン州では、道路運営財源の確保のため、燃料の購入費に対する課税から走行距離に基づく使用料金で賄う検討が行われている。この考えは、車の燃費の改善と電気自動車の利用によって、ガソリン税などで入ってきた州の収入が減少したことに対応するものである。ミシガン州では、燃料費からの課税をインフレ率に合わせ、増やしたりしたが、それでも必要な財源を確保できていなかった。

米国 2022年6月15日 IBTTA

■ RoadQuake を用いた事故管理対応チームの安全性と効率を向上させる

Improve safety & efficiency of incident management response teams with RoadQuake.

路上規制工事エリアで起こる衝突事故は、第2、第3の交通事故へとつながり、ドライバーが周辺状況について

て注意が行き届かない場合に同種の事故は発生する。これらの二次的な事故の発生は、作業の処理量と顧客の不満足に甚大な影響を及ぼすことがある。

持ち運びが可能なランブルストリップ RoadQuake は、ドライバーに渋滞状況等を知らせることで、事故対応中の二次的な事故の発生を抑止できる。ドライバーが運転する車両が RoadQuake を踏み越えたときに発生する大きな振動を聴いて感じることで、ドライバーの注意を道路上に再び振り向ける効果が証明されている。

インド 2022年6月20日 World Highways

■ インドで道路舗装工事の世界記録が樹立される

Indian road paving record set A road paving record has been set in India.

インドでアスファルト舗装の連続施工が世界記録を達成した。NH53の単一車線において75kmの舗装を105時間33分で実施するギネス記録となった。それまでのギネス記録で最長の舗装は、2019年2月にカタールのドーハで達成された25,275kmのアスファルト工事で10日かかっている。NH53道路は、Kolkata, Raipur, Nagpur および Surat などの大都市をつなぎ、インドを東西に横断する重要道路となっている。

スペイン 2022年6月20日 El País

■ Ferrovial 社、ACS 社と Acciona 社に競り勝ち、豪州で14億6,000万ユーロの道路建設に着手

Ferrovial bate a ACS y Acciona y construirá una carretera en Australia por 1.460 millones de euros

Ferrovial 社は、オーストラリアで14億6,000万ユーロ（約2,050億円）の契約を締結し、3つのトンネルを含む南ニュー・ゲイルズ沿岸14kmの道路を建設することになった。同契約成立には、マレーシアのGamuda社も参加する共同事業体が関与している。トンネルと橋梁を含む4車線の環状道路が建設される予定で、市中心街から1万2,000台の車両が走行し、利用者は約12分の旅行時間の短縮効果がある。2026年末までに竣工する予定である。

ドイツ 2022年6月23日 BMDV

■ 異常検出のための予測ブリッジ情報ディープラーニングモデル - P-BIM

Predictive Bridge Information Deep Learning Modell zur Anomalieerkennung - P-BIM

センサーを使用した橋梁モニタリングの課題は、現況測定データと構造挙動を正確に比較するために必要な建設当初における基本的な測定が欠落しているという事実によるものである。センサーは通常、損傷がすでに発生している場合にのみ設置されることから、多くの場合、元の正常な状態についての基本的な仮定しか行うことができない。連邦高速道路研究所 (BASt) のデジタルテストフィールドアウトバーンのコンセプトは、KreuzNürnberg に新しく建設された構造物に初めて測定コンセプトを適用することでこの問題に対処した。

イタリア 2022年6月27日 ANSA

■ イタリアで6月末から道路通行料が1.5%引き上げられる

Autostrade, a fine giugno aumento dell' 1,5% dei pedaggi

燃料費、各種料金、食品価格の上昇に続き、値上がりが見込まれる項目は高速道路の通行料である。6月末から、Autostrade per l' Italia (ASPI) は、高速道路の通行料を1.5%引き上げる準備をしている。ASPIによるとまだ予審段階で、2018年以来、4年間据え置かれた通行料を引き上げるかどうかは、関連省庁が最終的に決定する予定である。イタリア人の消費行動に影響を与えるのは他にエネルギー関連料金、電気・ガス、原材料価格等々があり、最後に引き上げられるのは高速道路の通行料であるが、その影響割合はわずかであると、ASPIの役員である Roberto Tomasi 氏は述べている。

米国 2022年6月28日 KFOR-TV

■ オクラホマ州高速道路運営当局、キャッシュレス通行料徴収計画を新たに認可

Oklahoma Turnpike Authority approves another cashless tolling conversion

オクラホマ州高速道路運営当局は6月末に会合を開き、オクラホマの高速道路の料金徴収システムをキャッシュレスにする計画を認可した。オクラホマ州はこれまでに、PlatePay と呼ばれ、カメラを用いて車両のナンバープレートを撮影し、オクラホマ州高速道路運営当局が登録された車両の所有者に通行料の請求書を送付する方法に切り替えてきた。同局は、2024年末までにオクラホマのすべての高速道路でPlatePay システムを適用する予定である。

米国 2022年6月29日 Silive

■ ニューヨーク市の混雑課金制度：MTA は環境評価を再提出し大きな節目を迎える

NYC congestion pricing : MTA reaches 'big milestone' with resubmission of environmental assessment

ニューヨーク都市圏交通公社 (MTA) は、ニューヨーク市で混雑課金制度を導入するにあたり、400 項目の追加質問に回答し、環境面での評価書原案を連邦高速道路局 (Federal Highway Administration) に再提出している。MTA は連邦当局が提示したすべての質問に回答したことから 2023 年末までに混雑課金制度を導入できる準備が整ったとしている。なお、混雑課金制度とは、一日の混雑時に特定の地域に入った車両に対して通行料の電子徴収を行う制度で、渋滞解消と交通管理において収益増大につながる施策とされている。

スペイン 2022年6月30日 El País

■ Abertis 社：トールゲート・バーもなければ、車からの炭素排出もない高速道路

Abertis : autopistas sin barreras ni emisiones

高速道路を電気自動車、コネクテッド自動運転車に適合させることが必要である。EU では、2035 年から内燃機関を備えた車両の販売が禁止となる。スペインの大都市でも環境に配慮のない自動車の運行に、より大きな制限を加える中、電気自動車とコネクテッド自動運転車への移行が加速し始めている。炭素排出を抑える意味でも、未来の高速道路が新技術を用いた交通車両の機能に適合することが必須となっている。脱炭素の取組みの一環として、ディーゼル車とガソリン車に制限を加えることで、交通量削減と渋滞状況の解消が必要となる。また渋滞と大気汚染を抑制する一方で、ICT を用いてリアルタイムで交通状態を車両に知らせ、事故を未然に防ぐ方策の開発も急がれる。これからは脱炭素化と交通環境のデジタル化が鍵となる。

スペイン 2022年7月3日 La Información

■ 政府により財政投入された高速道路は、コロナウイルス流行前の活動レベルまで回復した

Las autopistas rescatadas recuperan el nivel de actividad previo al coronavirus

有料高速道路は、2008 年の財政危機後に破産し、2017 年にはスペイン政府に救済されていたが、2021 年にはコロナウイルス流行を乗り越え、総額 120 万ユーロの利益を上げた。前年が 600 万ユーロ以上の損害だったことを考慮すると大きな利益である。9 本の道路については 7,650 万ユーロの収益で 2020 年に比べて 48% 増加で、2019 年の収益である 7,620 万ユーロをも上回り、コロナウイルス流行前の会計年度における利益も超えている。

ドイツ 2022年7月4日 Verkehrs Rundschau

■ より持続性のある商品輸送のためのトレーラーテレマティクス

Trailertelematik für nachhaltigeren Gütertransport

トラクターとトレーラーからのテレマティクスによる位置情報等データによって、すべての輸送ルートを地図化することができる。これにより、輸送ルート計画の改善につながる示唆を与え、物流工程を充実させることが

可能となる。サプライチェーンに透明性が生まれ、効率的で持続可能な輸送計画が保証されることや、空車が回避され、燃料が節約され、CO₂が削減されることが期待できる。Schmitz CargobullのTrailerConnect®プラットフォームは、システム内のすべての輸送データを明確にマッピングする。輸送業者は、効率的で環境に優しい計画のために、ルートと彼の保有車両に関するすべての情報を一目で把握できる。

スペイン（コロンビア） 2022年7月4日 El País

■ OHLA社は、3億1,500万ユーロでコロンビアにおける高速道路建設契約を成立させた

OHLA gana una autopista en concesión en Colombia con 315 millones de inversión

スペイン OHLA社とコロンビア Termotecnica Coindustrial社は、コロンビアの高速道路 Accesos Norte 2を今後29年間共同事業として管理運営することになった。首都ボゴタにおけるプロジェクトで、3億1,500万ユーロを投入して実施される。ボゴタとコロンビア北部との接続を円滑にする目的で建設され、約800万人の住民が利用できる道路となる。その他に、バス専用車線が設けられる計画である。

ドイツ 2022年7月5日 Süddeutsche Zeitung

■ ハノーバーの電気自動車用新設充電パーク

Neuer Ladepark für E-Autos in Hannover

ハノーバーに本拠地を置く電力会社 Enercityは、電気自動車用の大規模な充電所を、180万ユーロの費用で6カ月の建設期間を経て開設した。市内北東部リスト地区に、合計90カ所の個別充電ポイントが設置された。同社によれば、そのうち6カ所は大容量の急速充電にも適しているという。なお、Enercityは、年末までに4,500カ所を超える充電ポイントを運用する計画である。

米国 2022年7月6日 KRQE

■ ニューメキシコ州、道路の利用料金収入は、失われたガソリン税の代替に成り得る

Road user fees could replace lost gas tax revenue in N.M.

電気自動車と燃費のよい車両が、ニューメキシコ州のガソリン税を減少させ、同州の道路更新事業を行う財源の減少へとつながった。ニューメキシコ州交通局 Joseph De La Rosa氏は、道路利用料金の徴収が、ガソリン税の替わりとなりうる解決策であると今週行われた州の議員らとの会議で明言し、道路利用料金は「将来、ガソリン税に替わるものである」と述べた。

イギリス 2022年7月7日 World Highways

■ 国連で交通安全についての最初のハイレベル会議が開催される

UN's first High-level Meeting on Road Safety

会議の最終目標は、リスクの高い道路をなくし、各国政府による行動とサービス調達実現の10年間を保障することであった。道路上の事故と災害から来るトラウマの耐え難い規模を国際社会で認識しつつ、出席者は問題解決のための投資と取組みの増加を約束しあった。会議はニューヨーク市で6月30日から7月1日まで開かれ、道路上の安全について話し合う国連で初のハイレベル会議となった。SDG（持続可能社会）の実現に基づいて、道路上の死亡事故と傷害事故を2030年までに半分にする目標について討論された。道路安全の技術的基準などが提案され、自国の安全政策の成果を強調する宣言も発表された。